

日本鐵鋼協會第十一回講演大會プログラム

第一日 十月十六日(月曜日) 講演會 午前九時開會

注 意

1. 出席會員には豫め講演大要及前刷を差上ますから御閱覽の上當日御持參願ひます。
2. 御質問の際は御自分の出席番號をはつきり御讀み上げ下さい。筆記を以て御質疑の方は住所氏名を書添へ下されば講演者の應答を得て郵送します。
3. 各講演後には次の講演迄五分間の餘裕を置き質疑應答に當ててありますから御利用下さい。

會 場 名古屋市中區御器所町(市電大學病院前下車)

名古屋高等工業學校 講 堂

開 會 の 辭 日本鐵鋼協會第十一回講演大會委員長

名古屋高等工業學校校長 工學博士 森 彦 三 君

講 演 午 前 の 部

- | | |
|---|-------------------|
| 1. 熔融狀態に於ける銻銑爐鑄滓の粘性に就いて。 | A.M.
9:30-9:55 |
| 大阪帝國大學助教授 工學士 松 川 達 夫 君 | |
| 2. 工具用特殊鑄鐵の豫備的研究。 | 10:00-10:25 |
| 住友伸銅管株式會社 技師 理學士 絹 川 武 良 司 君 | |
| <u>十 分 休 憩</u> | |
| 3. 白銑鑄鐵の脫炭に就いて。 | 10:35-11:00 |
| 戸畑鑄物株式會社冶金研究所 理學士 内 藤 逸 策 君 | |
| 4. 鑄鐵の腐蝕現象(第一報) | 11:05-11:30 |
| 大阪帝國大學助教授 工學士 多 賀 谷 正 義 君 | |
| 5. 鑄鐵の流電氣腐蝕に及ぼす成分並に組織の影響。 | 11:35-12:00 |
| 新潟鐵工所技師 工學士 齋 藤 彌 平 君 | |

晝 食

午 後 の 部 午後一時開會

- | | |
|--|--------------------|
| 6. 電弧銲接法に依る銲着鐵の電磁氣的性質に就て。(幻燈使用) | P.M.
1:00-1:25 |
| 大阪帝國大學講師 工學士 岡 田 實 君 | |
| 7. 電弧銲接棒被覆劑の二三の特性に就いて。 | 1:30-1:55 |
| 鐵道大臣官房研究所 技師 工學士 柴 田 晴 彦 君 | |
| | 鯉 淵 正 夫 君 |
| <u>十 分 休 憩</u> | |
| 8. 高溫度抽出法による鐵鋼中の瓦斯定量に就いて。 | 2:05-2:30 |
| 日本特殊鋼合資會社 技師 工學士 矢 島 忠 和 君 | |
| 9. X 線に依る鐵鋼の定量分析に就いて。 | 2:35-3:00 |
| 東京帝國大學講師 工學博士 志 村 繁 隆 君 | |
| <u>十 分 休 憩</u> | |
| 10. 石灰窒素による鋼の表面硬化。 | 3:10-3:35 |
| 東京工業大學教授 工學博士 山 田 良 之 助 君 | |
| 東京工業大學 工學士 横 山 均 次 君 | |
| 東京電氣株式會社 工學士 江 川 朗 一 君 | |
| 11. 窒素硬化に及ぼす Al, Cr, Mn, Ni. の影響。 | 3:40-4:05 |
| 三菱航究機株式會社名古屋製作所 工學博士 石 澤 命 知 君 | |

十 分 休 憩

12. 電氣鐵鋼の製作に就いて。

4:15- 4:40

川崎造船所製鉄工場技師 工學士 西山 彌太郎 君
工學士 中 島 道 文 君

13. 和鋼の製造に就いて。

4:45- 5:10

東京帝國大學名譽教授 工學博士 俵 國 一 君

第一日講演終了

通俗講演會

日本鐵鋼協會 }
名古屋機械談話會 } 聯 合
名古屋工師會 }
工政會東海支部 }

會 場 名古屋商工會議所

開會時間 午後六時

開會の辭 名古屋高等工業學校校長 工學博士 森 彦 三 君

1. 鑄物に就いて。 海軍造兵中將 工學博士 石 川 登 喜 治 君

2. 材料試験に就て。 京都帝國大學名譽教授 工學博士 松 村 鶴 藏 君

3. 鋼の焼入に就て。 東北帝國大學總長 理學博士 本 多 光 太 郎 君

閉會の辭 社團法人日本鐵鋼協會々長 工學博士 河 村 驍 君

第二日 十月十七日(火曜日、祭日) 講演會 午前九時開會

午 前 の 部

14. 高周波誘導電氣爐の研究(第四報) A.M. 9:00- 9:25

芝浦製作所技師 中 村 素 君

15. 鐵の磁氣的性質に及ぼす燐の影響に就て。 9:30- 9:55

明治專門學校教授 マスター・オブ・サイエンス 嘉 村 平 八 君

16. 非金屬チタンの鐵に及ぼす二三の影響に就て。 10:00-10:25

東京帝國大學工學部冶金學教室砂鐵研究室 工學博士 梅 津 七 藏 君

十 分 休 憩

17. 滿俺の添加による鐵-セメントイト-硫化鐵合金の平衡狀態圖の變化

東北帝國大學助教授 工學士 佐 藤 知 雄 君

18. ニッケル、タングステン炭素系狀態圖。

附 燒結炭化タングステン合金の膠結劑としての鐵、ニッケル、コバルトの優劣に關する一考察

11:05-11:30

東北帝國大學助教授 工學博士 武 田 修 三 君

工學士 桂 寛 一 郎 君

19. 鋼の焼入膨脹速度に及ぼす特殊元素の影響。 11:35-12:00

東北帝國大學金屬材料研究所 教授 理學博士 村 上 武 次 郎 君

工學士 八 田 篤 敬 君

晝 食

午 後 の 部 午後一時開會

20. 銅を主成分とする銅-珪素-亞鉛系の平衡狀態に就て。 P.M. 1:00- 1:25

大阪帝國大學教授 工學博士 山 口 珪 次 君

工學士 森 永 卓 一 君

21. 耐蝕アルミニウム合金合せ板に就て。 1:30- 1:55

古河電氣工業株式會社技師 工學士 鳥 羽 安 行 君

22. 電氣抵抗線用鐵合金の研究。

東京帝國大學助教授 工學博士

三 島 德 七 君

2・00— 2・25

十 分 休 憩

23. シルクロム鋼の脆性原因に就て。

東北帝國大學講師 大同電氣製鋼所囑託 工學士

錦 織 清 治 君

2・35— 3・00

24. 軟鋼の時效と降伏點。(幻燈使用)

財團法人理化學研究所 工學士

黒 田 正 夫 君

3・05— 3・30

25. オーステナイト不銹鋼に就て。

日本ニツケル情報局技師 ドクトル・オブ・サイエンス

藤 原 唯 義 君

3・35— 4・00

十 分 休 憩

26. 鐵鋼及特殊鋼の高溫度硬度に就て。

東北帝國大學教授 工學博士

濱 住 松 二 郎 君

4・10— 4・35

27. 双物の味切に就ての二三の關係。

東北帝國大學金屬材料研究所長 理學博士

石 原 寅 次 郎 君

4・40— 5・05

閉 會 の 辭

日本鐵鋼協會々長 工學博士

河 村 驍 君

講 演 終 了

晚 餐 會

會 場 名古屋商工會議所

開 會 時 間 午後六時三十分

第 三 日 十月十八日 (水曜日) 工場見學 (必ず出席章佩用の事)

(時間統制上見學工場より次の工場への道程は凡て自動車を利用しますから御了承下さい)
午前九時前に A、B 班共大同電氣製鋼所熱田工場に集合の事。

(名古屋市南區熱田東町 電停 牛 巻より徒歩 10 分)
電停 愛電前より徒歩 13 分)

A 班

× (1) 大同電氣製鋼所熱田工場

午前 9・00 — 10・00

× (2) 三菱航空機株式會社名古屋製作所 (電停 南陽館前 徒歩 7 分)

午前 10・15—午後 12・00

午 餐

(3) 日本碍子株式會社 (電停 ^{ザンイチ} 雁道 電停前)

午後 1・30 — 2・30

× (4) 大隈鐵工所 (電停 布池 徒歩 5 分)

午後 2・50 — 4・00

B 班

× (イ) 大同電氣製鋼所熱田工場

午前 9・00 — 10・00

(此間徒歩 5 分)

× (ロ) 日本車輛製造株式會社 (電停 愛電前 徒歩 8 分)

午前 10・05 — 11・20

午 餐

× (ハ) 愛知時計電機株式會社 (電停 船方)

午後 0・30 — 2・20

(見學後自動車にて名岐電鐵柳橋驛着津島線電車にて須ヶ口驛下車)

(ニ) 豐田式織機株式會社新川工場 (名岐電鐵須ヶ口驛前)

午後 3・00 — 4・00

第 四 日 十月十九日 (木曜日) 工場見學

午後九時前に千種兵器製造所へ集合のこと (電停仲田より徒歩 5 分)

× a. 名古屋工廠千種兵器製造所

午前 9・00 — 10・30

b. 三菱電機株式會社名古屋製作所 (大曾根線八幡前 徒歩 15 分)

午前 10・50 — 0・00

解 散